



その 11 アイロンもナチュラルクリーニングでひと工夫

嫌いな家事ワースト3に必ず挙がるアイロンかけ。まずは通勤用のワイシャツ。スーツより圧倒的に頻度も枚数も多いでしょう。私も出産の際、陣痛が来ているのに「ワイシャツ一週間分仕上げるまで入院できん！」とフーフー言いながらアイロンをかけていた覚えが(遠い目……)。

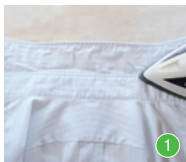
アイロンをかける前の必須事項のひとつが、汚れをしっかりと落としておくこと。特に襟垢は、皮膚のタンパク質と脂が混じったものなので、アイロンの熱で汚れが固まり落ちなくなってしまうのです。生卵が目玉焼きになるように……。

襟垢は、**スノール純石けん**を塗り付けてしっかり汚れを落とします。それでも落ちない色素は、**酸素系漂白剤**を使います。お風呂の温度(40度)くらいのお湯2Lに対して**酸素系漂白剤10g**を溶かした液に15〜30分程度浸した後、水ですすぎます。その後、普通に洗濯します。干すときも、手でパンパンはさんで叩き、小さなシワはできる前に伸ばしておくのと後が楽です。

いざアイロン！ スチームを使う際は、出しっぱなしにするのではなく、出してかけた後、スチームを切って蒸気を逃がしながらかけると、ぱりっと仕上がります。スチーム機能を使わないなら、霧吹きで湿らせてからかけます。

順番は面積が小さく、生地が厚い部分(襟と袖口)からかけると楽です。身頃を先にかけてしまうと、他をかけている間にまたシワになってしまいます。具体的には下記の順がおすすめとされています。

- ① 襟…裏側からかけて、最後表側を仕上げにかけるとぱりっと仕上がります。
- ② 肩ヨーク…アイロン台の先端に引っかけ



て、襟を立てたままかけると立体的に仕上がります。

- ③ 袖口…袖口は、剣ボ口からかけます。生地が厚い部分は、裏からかけた後、表からもかけるとしっかりシワが伸びます。
- ④ 袖下、脇…縫い目に沿ってかけていきます。
- ⑤ 身頃…脇のラインをアイロン台の縁に沿わせ着せるようにして、一気にかけるときれいに仕上がります。前身頃は、まず前立てにしっかりかけておくとしゃんと扱いやすくなります。

アイロンのスチームタンクは、使い終わったら毎回水を抜いてください。水を入れっぱなしにすると、錆びたり、水垢がつきやすくなります。倒して水がクローゼットでこぼれた……ということも防げますしね。

もうすぐ内定式を控えている会社もあるでしょう。社会人になるお子さんがいらっしゃるおうちは、「自分のワイシャツにアイロンをかけるのも社会人への第一歩」と、練習するきっかけになるかもしれませんね。

これまでのナチュラルクリーニングはコチラ

▶ <http://www.shabon.com/column/>



興 幸子(おきさちこ)さん

大学で天然物化学を専攻し、製薬メーカー、調剤薬局に薬剤師として勤務。安全で気持ちの良い生活法を提案する「ナチュラル家事」の講師として各地で講演中。薬剤師、公益社団法人日本アロマ環境協会認定アロマテラピーアドバイザー、ハウスキーピング協会認定整理収納アドバイザー

